

第5回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

日 時	令和8年5月22日(金)13時30分から15時00分
場 所	教育文化会館3階第3研修室
出席者 (敬称略)	堀内 秀雄 乾 幸八 平家 利也 田村 亜美 森田 知世子 米坂 薫 中川 多賀子 上江 恵子 小原 秀紀 今田 実 岸田 昌章 戸島 浩子 松山 泰久 平田 敬二 福澤 稔 向 律子  【出席委員：16名】
欠席者 (敬称略)	前田 陽一郎 石田 彪我  【欠席委員：2名】
事務局	総合政策部長 井上 稔章 地域振興室 室長 前川朋久 副室長 大岡久子 主任 上原慎太郎 主査 村上知沙
次 第	1 開会 2 報告 (1) 広報はしもと 資料1 広報5月号記事 (2) はしもとプラチカ 資料2 令和7年度はしもとプラチカ活動 (3) こどもパンフレットを使用した出張授業 資料3 こどもパンフレット、資料4 橋本小学校出張授業の報告 (4) 正副G長会議 資料5 正副G長会議録 3 議事 (1) 自治と協働の職員研修 (2) すこやか橋本まなびの日 資料6 まなびの日出展報告 (3) 提言書 (4) 協働の基本指針の見直し 資料7 提言書素案 (5) 10周年記念誌 4 その他 (1) 副委員長の後任 5 閉会

## 1 開会

- 委員 18 名中 15 名出席により、委員会が成立していることを報告。傍聴者 1 名。  
(委員 1 名が遅れて出席したため、開会時は 15 名)
- 議事録署名人は上江恵子委員、岸田昌章委員。
- 令和 8 年 4 月の人事異動により、事務局体制が変更となったため報告。

## 2 報告

### (1) 広報はしもと

資料 1 広報 5 月号記事

事務局から情報共有 G で作成した記事が広報 5 月号に掲載された旨報告。

### (2) はしもとプラチカ

資料 2 令和 7 年度はしもとプラチカ活動

事務局から資料に基づき報告。

#### ○ 委員長意見

- 前年度踏襲は新しい挑戦にならない。団体活動への意見は出てないか。
  - 講座を通じて人材交流は増加しているが、地域活動への具体的な結びつきである点が課題。今年度は参加者を巻き込む形でクリスマスマーケットを企画し、さらなる地域活動促進を目指している。
- 「ホップ・ステップ・ジャンプ」という段階を意識し、成果と課題を適切に整理しなければ、マンネリ化を招く可能性がある。
- 委員会でもプラチカ活動について議論し、意見を届ける必要がある。

### (3) こどもパンフレットを使用した出張授業

資料 3 こどもパンフレット、資料 4 橋本小学校出張授業報告

パンフレットについては事務局から、橋本小学校で実施したパンフレットを使用した出張授業については資料 4 に基づき戸島委員、向委員から説明。

- 昨年 12 月、今年 5 月にパンフレット及び出張授業の紹介を校長会で実施。
- パンフレットは 6 年生を対象に配付し、昨年度は城山小学校、今年度は橋本小学校で出張授業を実施した。現在は柱本小学校、清水小学校から依頼をいただいている状態。
- 児童が考える時間を確保するため、昨年度授業から内容を一部変更した。
- 少子高齢化が進むと「こどもが生まれたらみんなで喜ぶ」、「高齢者が増えるとエアコン使用が増え地球温暖化が進む」、こどもができる協働では「コミバスに乗る」「市民病院を使いまくる」など大人には思いつかない意見がでた。出張授業を続けることで大人も柔軟な発想を得られると感じた。
- 委員会全体で取り組むため、一緒に参加いただける方を募集したい。
  - LINE グループに戸島委員から案内を送付する。

#### ○ 委員意見

- 校長会では出張授業を単独で実施するのではなく、学校での協働の取り組みのどこかに位置付け連携し、より良い効果を発揮させてほしいと伝えた。

- 児童が帰宅後親に伝えやすいように目的等を精査し取り組んだ方が良い。
- 委員長意見
  - 市内で実践している協働の取り組みを児童に伝える良い機会になっている。
  - 蓄積のためにも出張授業の振り返りを行うシートを作成したほうが良い。
  - 事前準備が 8 割、事前の打ち合わせを密にやっていただきたい。
  - 今後は市民参画 G での学校調整、委員会全体での現場対応を検討する。
- (4) 正副 G 長会議
  - 資料 5 正副 G 長会議録
  - 主な協議事項は「自治と協働の職員研修、まなびの日、第 4 期提言書、協働の基本指針、10 周年記念誌」。議事で詳細について説明する。
- 委員長意見
  - 今年は協働の基本指針や 10 周年記念誌などこれまでにない事業が多いため、皆の意見を聞き、分担しながら実施していきたい。

### 3 議事

- (1) 副委員長の任命
  - 東副委員長が委員を辞任されたため、後任について堀内委員長から提案。
  - 令和 9 年 3 月までの任期で、田村委員に副委員長を務めていただく。
- (2) 自治と協働の職員研修
  - 事務局から説明
  - 令和 8 年度は 9 月に研修を実施予定。
  - 進捗等は LINE で随時共有し、8 月の第 6 回委員会で報告する。
- 委員長意見
  - 正副委員長 3 名、各 G から G 長と 1 名の計 9 名で構成される正副 G 長会議で担当、内容、役割分担を決め委員会に報告させてもらってよいか。
    - 異議なし
  - 意見吸い上げは G 長を通じて行っていく。
- (3) すこやか橋本まなびの日
  - 資料 6 まなびの日出展報告
  - 事務局から部会に関する案内をグループ LINE に入れることとなった。
    - 部会に関するグループ LINE を作成し、世話人を決定する。
- 委員からのお知らせ
  - まなびの日は 11 月 8 日(土)県立体育館で実施予定。
  - 橋っ子まつりは 11 月 22 日(土)県立体育館で開催する。委員会でブース出展等の活動をするのであればスペースを確保するのでお声がけください。
- (4) 提言書
  - 委員長から説明。
  - 正副 G 長で提言書の目次等を作成し 8 月委員会で報告する。

- 各 G は 8 月委員会で第 4 期の取り組み状況等について報告する。
  - 11 月の委員会で提言書素案を提示する。
- (5) 協働の基本指針の見直し
- 資料 7 提言書素案  
事務局から説明。
- 平成 19 年に作成した協働の基本指針の見直しを実施している。
  - 3 月に庁内の検討委員会と協働のまちづくり G と意見交換会を実施した。
  - 今回資料として配布したものは、3 月意見を基に作成中のもの。
  - 見直しのスケジュールについて地域振興室内で再検討している。
  - 素案を基にパブコメや市民意見を聞き、原案を作成する。
- 委員報告
- 協働のまちづくり G として意見交換会で気になった点を伝えたが、特に高島市事例を十分参考に作成してほしいと伝えた。
- 委員長意見
- 協働の指針であるため、市民の声に耳を傾ける公開の場を持ってほしい。
  - 指針は市で作成するものであり、委員会の意見を押し付けるものではない。
  - AI 使用による著作権侵害（挿絵、文章）に気を付ける。
- (6) 10 周年記念誌
- 事務局から説明
- A4 カラー 40 ページを 200 部で予算は 30 万円程度を予定している。
  - 構成はこれからだが、写真や 2 次元コードを掲載するなど手に取ってもらえる記念誌を目指している。
  - 令和 9 年 1 月末には印刷を完了したい。
  - 正副 G 長会議 + 希望者で 10 周年記念誌発行部会を設立したい。
- 委員長意見
- 正副 G 長会議のもと、有志の部会を立ち上げる。松山委員に入っていただきたい。
  - 部会に未参加の方にも協力をお願いする。
  - 事務局で工程表作っていただきたい。

#### 4 その他

##### (1) 高島市視察

- 令和 8 年度協働に関する実施事業完了後、成果や課題を伺う機会を設ける。

##### (2) 事務局担当細分化

- 議事の中の事務局の担当を具体的に細分化明確化して報告する。
- 全ての会議に事務局全員が出席する必要ない。

#### 5 閉会

【会議録署名欄】

委員長

堀内秀雄.

【会議録署名欄】

委員

上江惠子

---

【会議録署名欄】

委員

寿田昌幸 